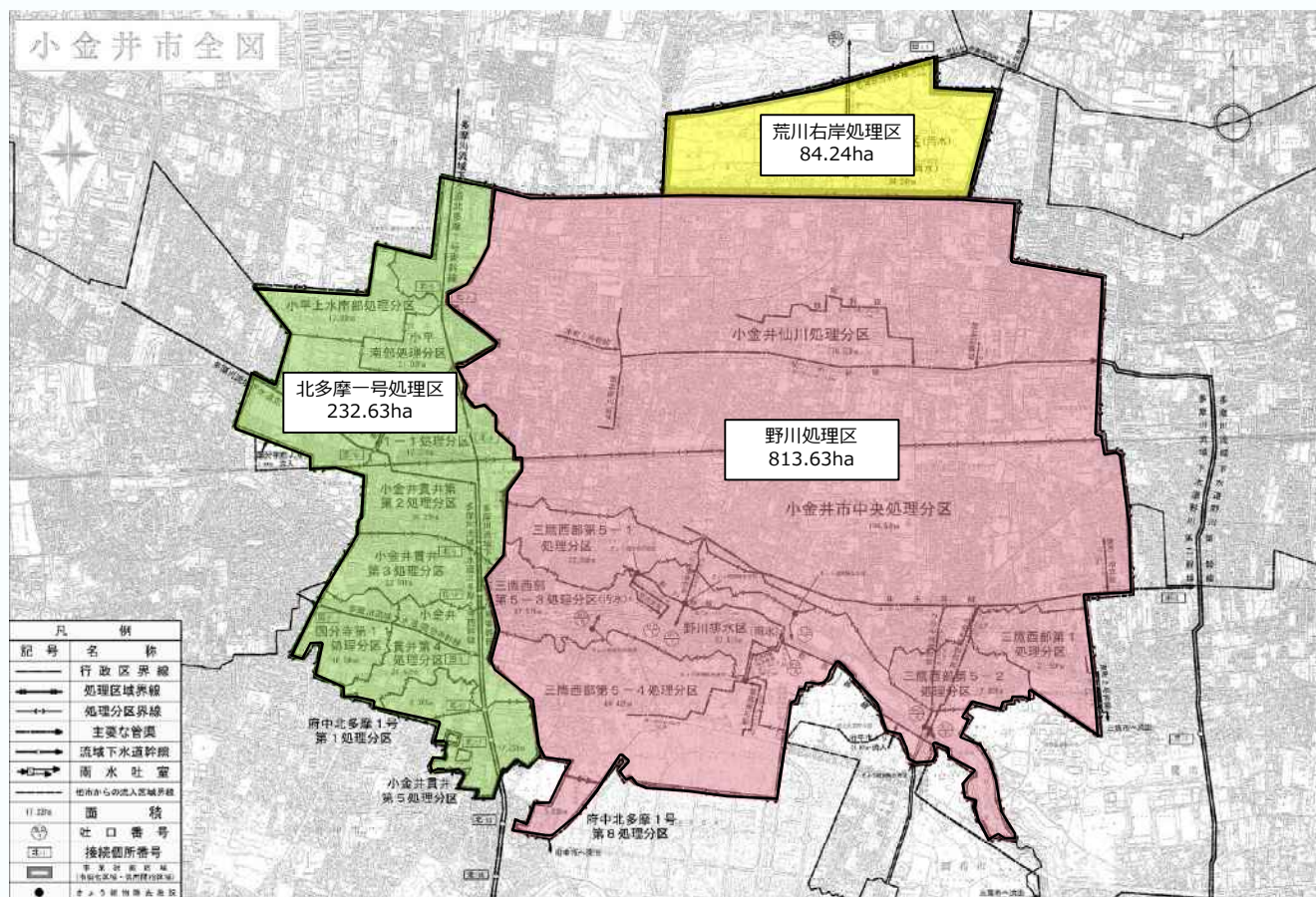


小金井市下水道事業の現状 について

次第

1. 小金井市下水道事業の概要
2. 小金井市下水道事業の現状
3. 小金井市下水道事業抱える課題

1. 小金井市下水道事業の概要

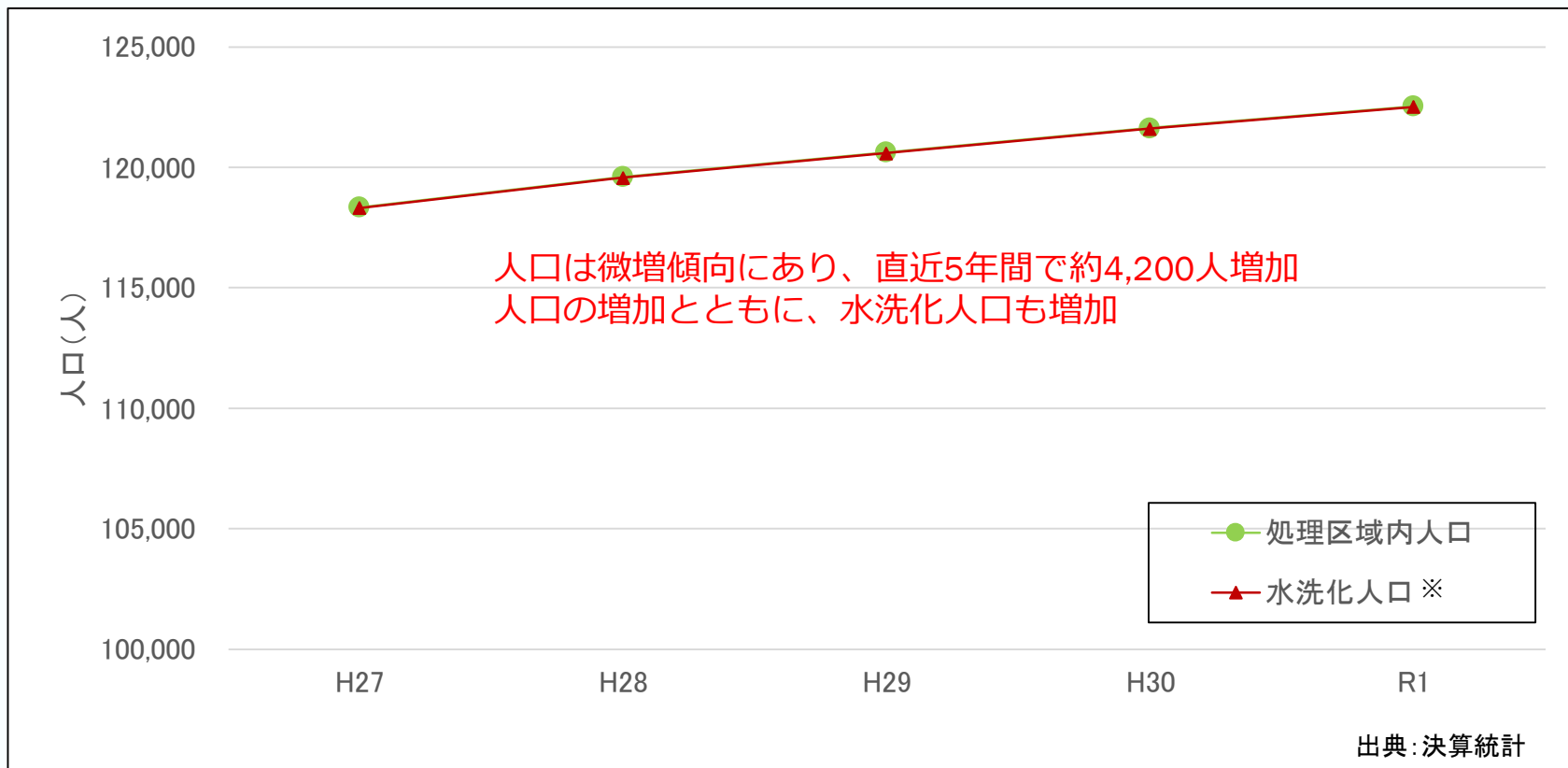


出典: 小金井市公共下水道事業 計画一般図

- 事業着手
昭和44年度
- 処理区域面積
1,133ha
(令和2年3月31日現在)
- 処理人口
122,542人
(令和2年3月31日現在)
- 人口普及率
100%
- 処理区数
3処理区
- 管きよ総延長
約249km
(令和2年3月31日現在)

2. 小金井市下水道事業の現状

人口の推移

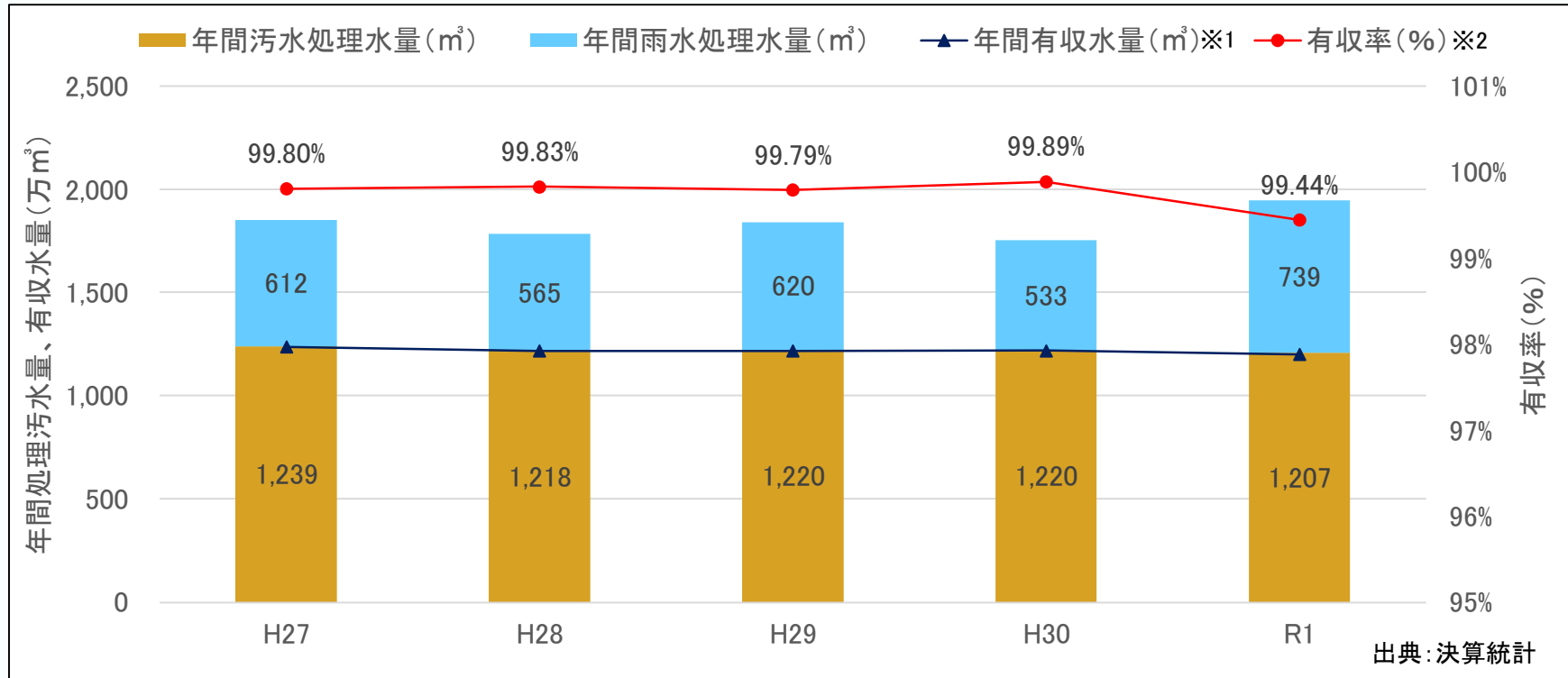


※水洗化人口とは、公共下水道を実際に使用している人口のこと。

項目	H27	H28	H29	H30	R1
行政人口(人)	118,346	119,598	120,618	121,629	122,542
処理区域人口(人)	118,346	119,598	120,618	121,629	122,542
水洗化人口(人)	118,318	119,570	120,590	121,601	122,521
水洗化率(%)	99.98%	99.98%	99.98%	99.98%	99.98%

2. 小金井市下水道事業の現状

汚水量の推移



※1 有収水量とは、下水道で処理した汚水のうち、不明水を除いた使用料収入の対象となる水量のこと。

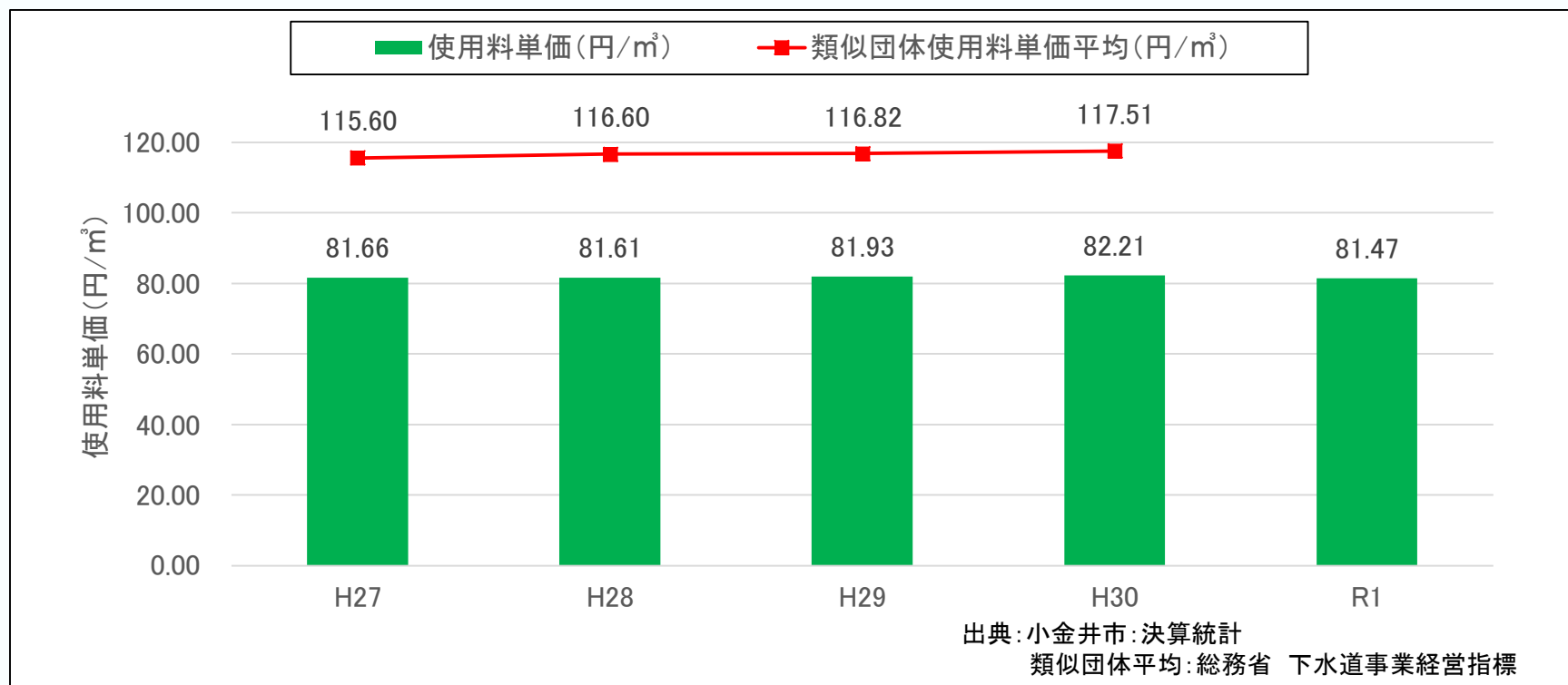
※2 有収率 = 年間有収水量 ÷ 年間汚水処理水量

項目	H27	H28	H29	H30	R1
年間総処理水量 (万m³)	1,851	1,784	1,840	1,753	1,946
汚水処理水量 (万m³)	1,239	1,218	1,220	1,220	1,207
雨水処理水量 (万m³)	612	565	620	533	739
年間有収水量 (万m³)	1,237	1,216	1,217	1,219	1,200
有収率 (%)	99.80%	99.83%	99.79%	99.89%	99.44%

2. 小金井市下水道事業の現状

使用料単価の推移

- 使用料単価は、有収水量1m³あたりの使用料収入であり、使用料の水準を表す指標
- 使用料単価 = 使用料収入 ÷ 有収水量



項目		H27	H28	H29	H30	R1
有収水量 (m ³)	①	12,365,388	12,163,984	12,174,440	12,188,232	11,997,980
使用料収入 (千円)	②	1,009,787	992,657	997,415	1,002,019	977,441 ^{※1}
使用料単価 (円/m ³)	③ = ② ÷ ① × 1000	81.66	81.61	81.93	82.21	81.47
類似団体使用料単価平均 (円/m ³)		115.60	116.60	116.82	117.51	未公表 ^{※2}

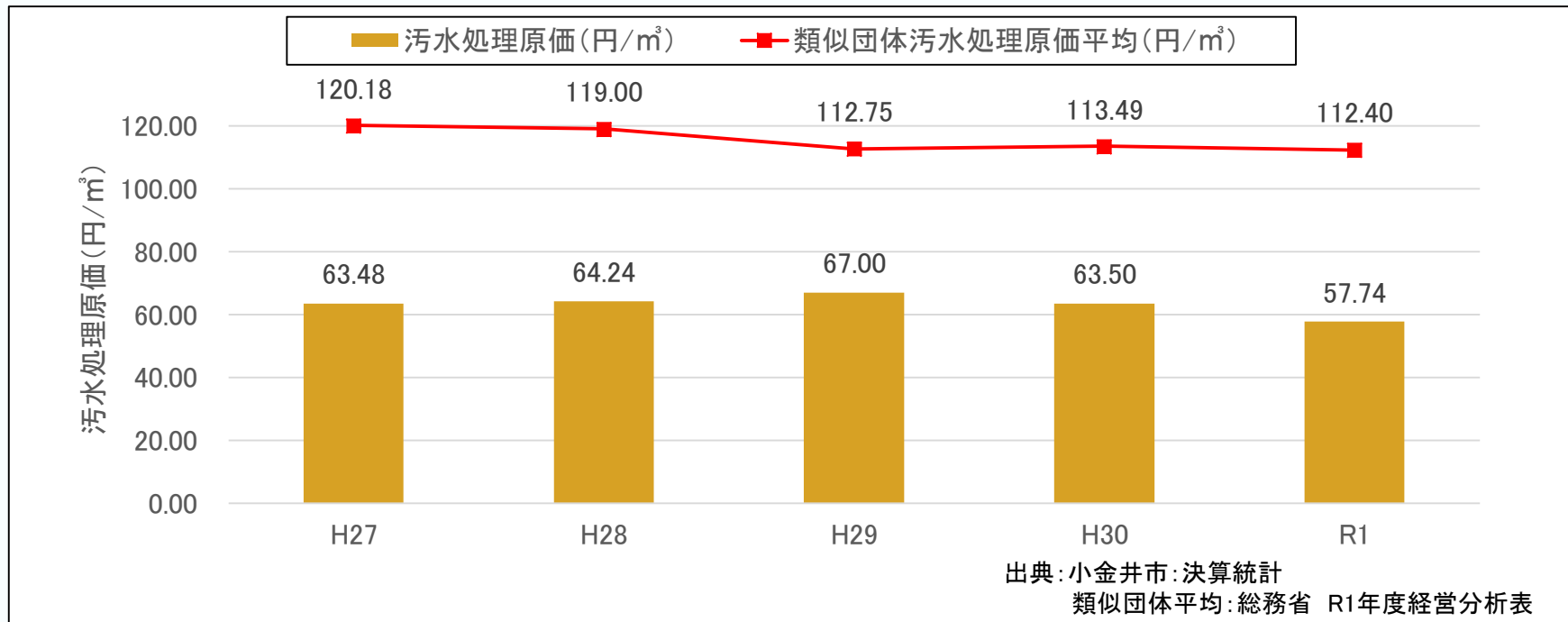
※1 R1年度は、地方公営企業法を適用する前年度のため、有収水量12か月分に対し料金収入が11か月分となっている。

※2 総務省のR1年度下水道事業経営指標はまだ公表されていない。

2. 小金井市下水道事業の現状

汚水処理原価の推移

- 汚水処理原価は、有収水量1m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標
- 汚水処理原価 = 汚水処理費 ÷ 有収水量



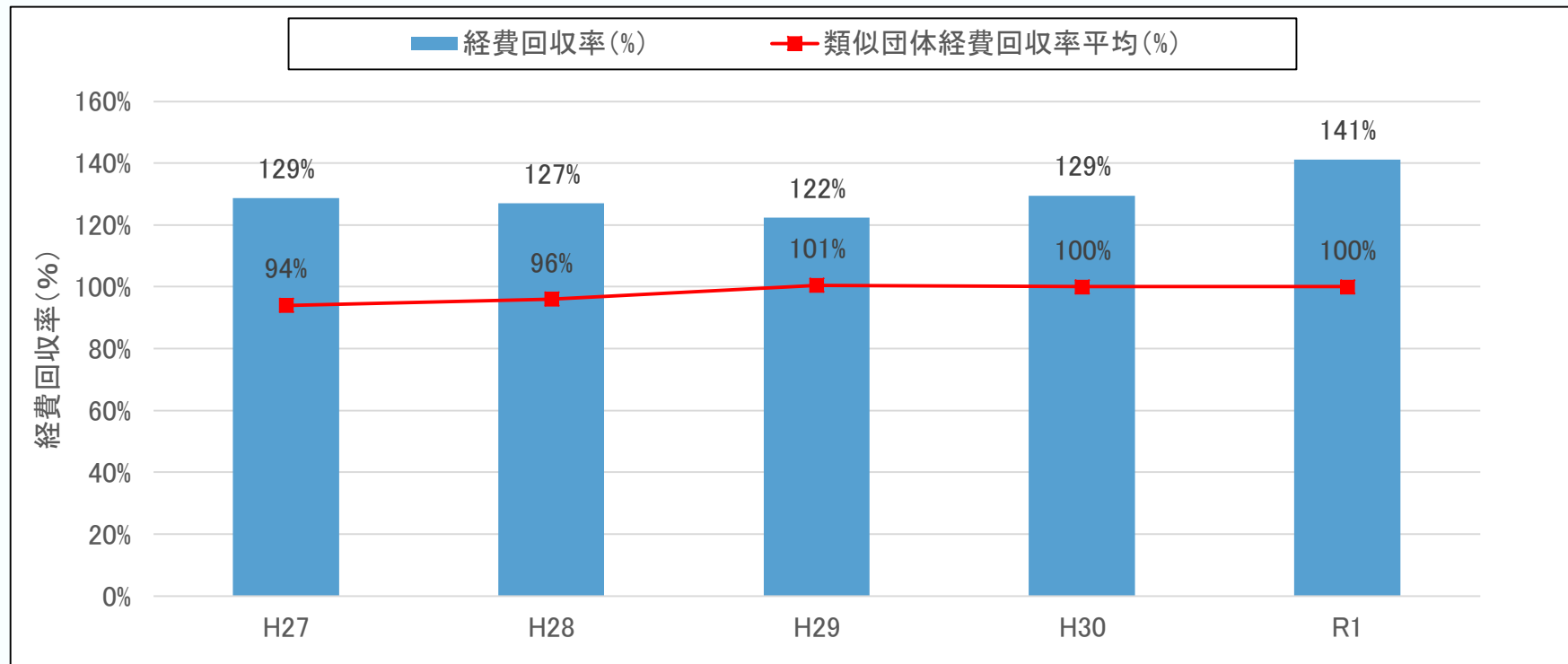
項目		H27	H28	H29	H30	R1 [※]
有収水量 (m ³)	①	12,365,388	12,163,984	12,174,440	12,188,232	11,997,980
維持管理費(汚水処理費) (千円)	②	742,580	741,891	778,200	737,080	657,473
資本費(地方債等利息) (千円)	③	42,407	39,469	37,462	36,884	35,348
汚水処理原価 (円/m ³)	④=⑤+⑥	63.48	64.24	67.00	63.50	57.74
維持管理分	⑤=②÷①×1000	60.05	60.99	63.92	60.47	54.80
資本費分	⑥=③÷①×1000	3.43	3.24	3.08	3.03	2.95
類似団体汚水処理原価平均 (円/m ³)		120.18	119.00	112.75	113.49	112.40

※ R1年度は、地方公営企業法を適用する前年度のため、特例的支出となった未払金分が決算統計に反映されていない。

2. 小金井市下水道事業の現状

経費回収率の推移

- 経費回収率は、使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標
- 経費回収率 = 使用料単価 ÷ 汚水処理原価



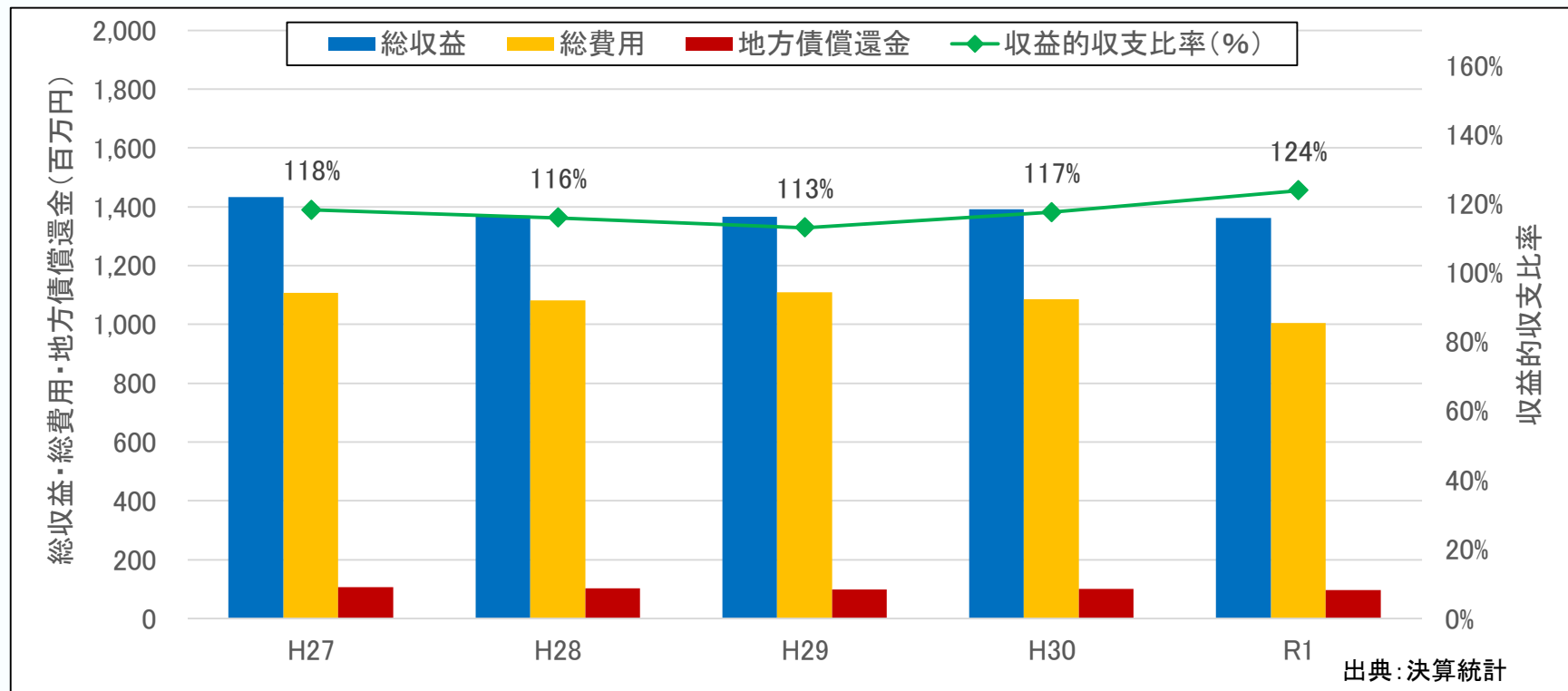
項目		H27	H28	H29	H30	R1 [※]
使用料単価(円/㎡)	①	81.66	81.61	81.93	82.21	81.47
汚水処理原価(円/㎡)	②	63.48	64.24	67.00	63.50	57.74
経費回収率(%)	③ = ① ÷ ② × 100	129%	127%	122%	129%	141%
類似団体経費回収率平均(%)		94%	96%	101%	100%	100%

※ R1年度は、地方公営企業法を適用する前年度のため、特例的支出となった未払金分が決算統計に反映されていない。
2021/3/16

2. 小金井市下水道事業の現状

収益的収支比率の推移

- 収益的収支比率は、料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた費用をどの程度賄えているかを表す指標
- 収益的収支比率 = 総収益 ÷ (総費用 + 地方債償還金)

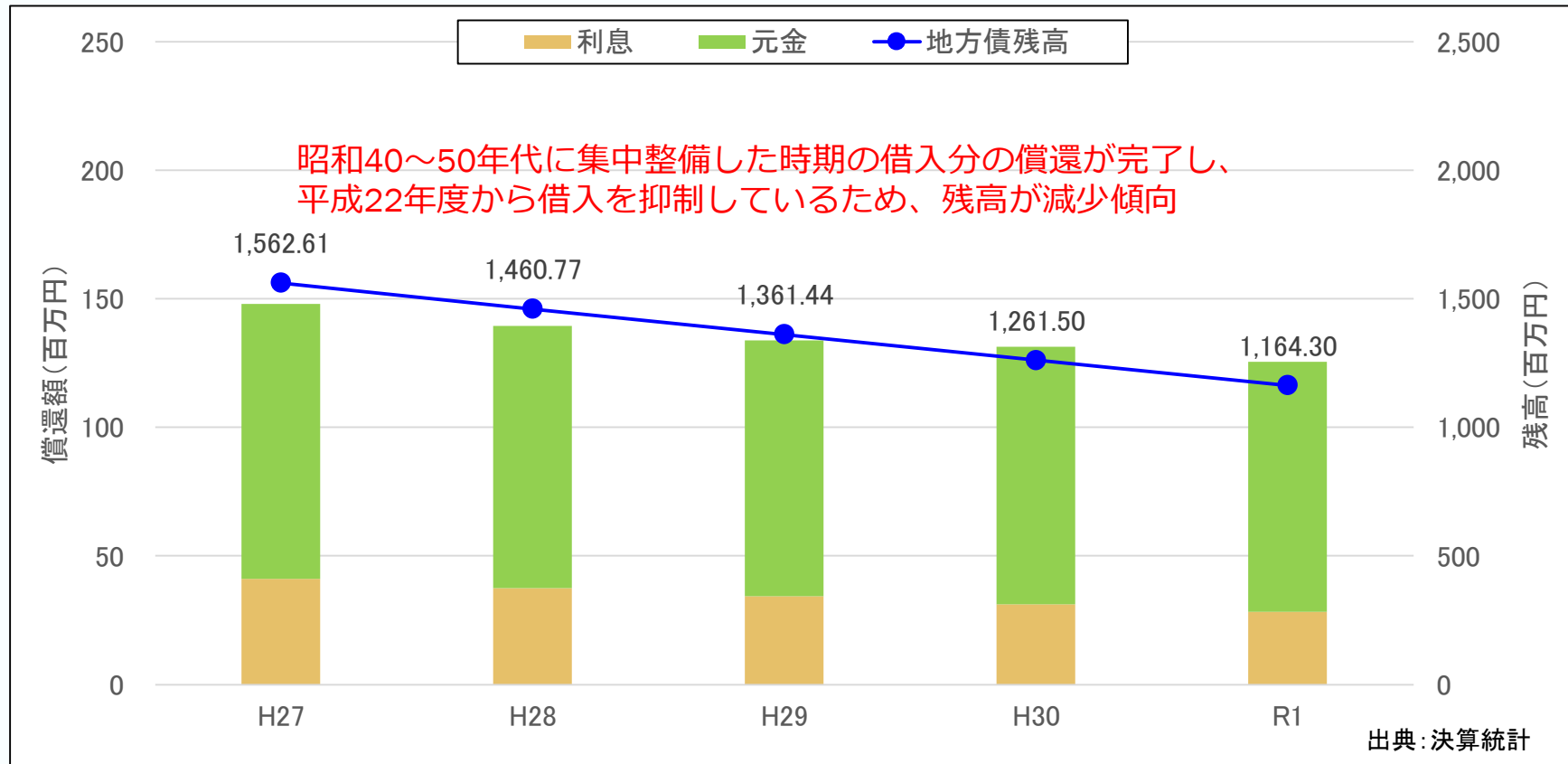


項目		H27	H28	H29	H30	R1 [※]
総収益	①	1,432	1,371	1,367	1,392	1,362
総費用	②	1,106	1,082	1,110	1,086	1,004
地方債償還金	③	107	102	99	100	97
収益的収支比率 (%)	④ = ① ÷ (② + ③)	118%	116%	113%	117%	124%

※ R1年度は、地方公営企業法を適用する前年度のため、特例的支出となった未払金分が決算統計に反映されていない。

2. 小金井市下水道事業の現状

地方債償還額及び残高の推移



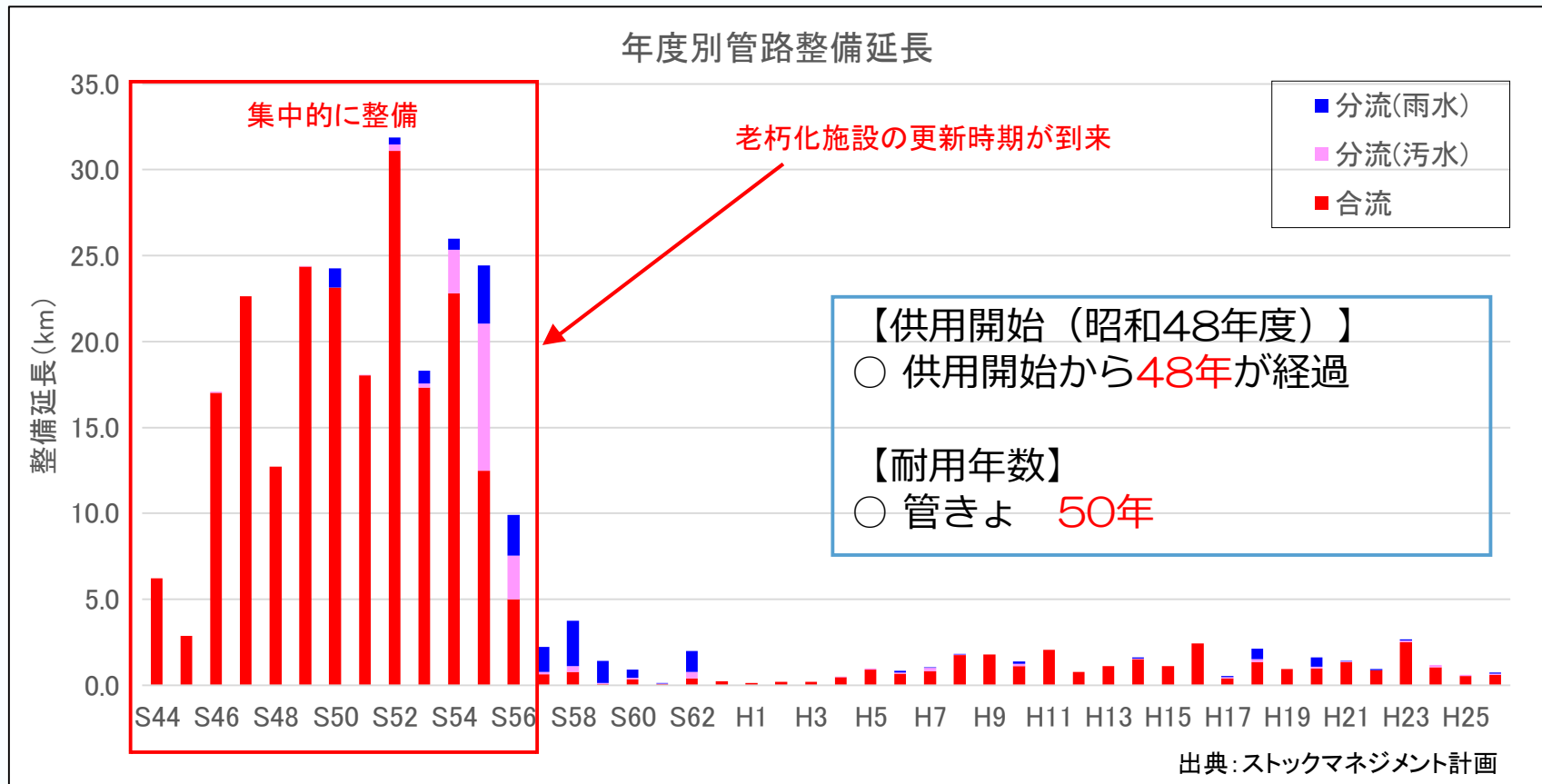
※ 地方債とは、下水道施設建設に要する資金に充てるために国や地方公営企業等金融機関から借り入れる資金のこと。

(単位: 百万円)

項目	H27	H28	H29	H30	R1
利息	41.08	37.61	34.39	31.31	28.26
元金	106.81	101.84	99.33	99.94	97.20
地方債残高	1,562.61	1,460.77	1,361.44	1,261.50	1,164.30

2. 小金井市下水道事業抱える課題

施設の老朽化



施設の老朽化に伴い改築更新ピークを迎える